

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード：120315

精神看護方法論Ⅱ Psychiatric Nursing Ⅱ

担当教員	川村 みどり 清水 暢子 大江 真吾				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	45		
Keywords	精神障害がある人と家族への看護、精神科看護技術、紙上事例展開				
学習目的・目標	【目的】 精神科看護の対象となる人への看護に必要な、精神看護技術について理解する。 精神科看護の対象となる人に適切な看護を提供するために、看護過程を展開する能力を身につける。 【目標】 1. 精神科における看護技術について説明できる。 2. 対象の主体性を重視した看護について説明できる。 3. 対象の強みに着目した看護について説明できる。 4. 家族へのアプローチの具体的手法について説明できる。 5. 対象の健康状態をアセスメントできる。 6. 対象の健康状態に応じた看護計画を立案できる。 7. 対象の退院後の生活を想定した看護を考えることができる。 8. カンファレンスで自分の意見を述べ、議論を深めることができる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-2	イントロダクション 【講義】気分障害患者の看護（うつ）；事例提示，情報の整理				
3-4	【演習1】気分障害患者の看護（うつ） 【講義】気分障害患者の看護（躁）；事例提示，情報の整理				
5-6	【演習2】気分障害患者の看護（躁） 【講義】発達障害患者の看護；事例提示，情報の整理				
7-8	【演習3】発達障害患者の看護 【講義】不安障害患者の看護；事例提示，情報の整理				
9-10	【演習4】不安障害患者の看護 【講義】アルコール依存症患者の看護				
11-12	【講義】パーソナリティ障害患者の看護 【演習5】パーソナリティ障害患者の看護；全体像の把握，看護の方向性，看護計画立案				
13-14	【演習6】パーソナリティ障害患者の看護；看護計画の発表，全体検討，まとめ 【講義】統合失調症患者の看護（急性期）				
15-16	【演習7】統合失調症患者の看護（急性期） 【講義】統合失調症患者の看護（回復期）				
17-18	【演習8】統合失調症患者の看護（回復期） 【講義】統合失調症患者の看護（慢性期）				
19-20	【演習9】統合失調症患者の看護（慢性期） 演習のまとめ				
21-22	実習に向けて(1) 特別講義				
23	実習に向けて(2)				
教科書	岩崎弥生、渡邊博幸（編集）：精神看護学① 精神看護学概論・精神保健 第4版、メジカルフレンド社、2015 岩崎弥生、渡邊博幸（編集）：精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 第4版、メジカルフレンド社、2016 上田敏（著）：ICFの理解と活用、初版、萌文社、2005				
参考図書等	渡辺雅幸：専門医がやさしく語る はじめての精神医学 改訂第2版、中山書店、2015				
評価指標	授業回数の2/3以上の出席者のみ評価対象とする。 演習の課題50%、事例のグループワーク20%、事例ごとのミニテストと定期試験30%				
関連科目	哲学、生命倫理学、心理学、臨床心理学、社会福祉論、精神保健論、疾病・障害論Ⅲ（精神）、精神看護学概論、精神看護方法論Ⅰ、地域精神保健看護論、精神看護学実習、統合実習A				
教員から学生へのメッセージ	現在の精神保健医療福祉では、入院治療にとどまらず、地域での生活を継続できる支援も実践されています。対象に対する治療や看護について学び、さらに対象の望む生活を支援するケアについて考えましょう。				